

みえ太平洋・島サミット推進会議（仮称）設立趣旨（案）

2016（平成28）年のG7伊勢志摩サミット開催から5年の節目の年にあたる2021（令和3）年に、三重県志摩市を中心とする伊勢志摩地域で、「第9回太平洋・島サミット」（以下、「サミット」という。）が開催されることとなりました。

三重県では、このサミット開催に際して、G7伊勢志摩サミットのレガシーを生かしたおもてなしや魅力発信を行うことで、三重ならではのブランド力を向上させ、そのイメージを一段と確立し世界にアピールできるまたとないチャンスと捉えています。

また、2021（令和3）年は、三重県がパラオ共和国と友好提携を締結した1996（平成8）年から25周年を迎える記念すべき年にもあたり、サミット開催を契機として、本県と太平洋島しょ国との絆を深める絶好の機会でもあります。

これらの三重の魅力や独自性の発信が、地域に明るい話題をもたらし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で疲弊した地域経済回復の一助につながることを期待しています。

サミットを成功させるためには、この機をのがすことなく、地元関係団体及び機関等と連携し、開催気運の醸成や、三重の魅力発信、島しょ国との交流、地元プログラム等の開催に取り組む必要があることから、この度、「みえ太平洋・島サミット推進会議（仮称）」を設立いたします。

この推進会議において、産業・経済、観光、交通、環境、国際交流、医療、行政の各分野及び在日太平洋島しょ国関係機関の幅広い分野の知見及びご助言や、島しょ国の課題等に精通したご意見を得て、より充実した事業実施につなげてまいります。